おひさまだより

2025.10月

園でのインフルエンザの流行はまだありませんが、神奈川県では１０月２日にはインフルエンザの流行が始まったと記者発表がありました。横須賀市のホームページにも「インフルエンザの潜伏期間は通常数日程度ですが、軽症のインフルエンザの人が感染を広めている可能性もある」とのことです。お子様も、おうちの方も体調の変化にお気を付けください。

火事について学びました

火事のアニメを見る２歳児のお友だち。緊張感が伝わってきます！！

１０月２３日に防火教室がありました。消防署の方が火の恐ろしさや命の大切さについて話をしてくださいました。お子様方はライターのいたずらからおきた火事のアニメーションを目を皿のようにして見つめ、カーテンに燃え移る火の速さに驚いていました。消すことよりまず逃げること、火事であることを人に知らせること、ハンカチを口に当て身を低くして逃げるなどの話を、それはそれは真剣に聴きました。毎年行われる防火教室ですが、アニメも毎年違うのだそうです。いざというときに子どもたちが自分の命を守る行動を身につけられるよう作られているとのことで、園での防火教室の意義を深く感じました。

～新しいルールを理解して さらに楽しむ～（非認知能力の向上へ）

年長さんは、先日の運動遊びでリレーをしました。リレーと言えば、運動会での熱戦が記憶に新しいところです。根本先生が「今日は、今からリレーをやろう」と言うと子どもたちから歓声が上がりました。「よく聞いていてね。今から３つのチーム、黄色、白、赤チームに分けます。園庭を１周します。先生が肩を触って色を言うからその場所のコーンに行ってね」とルールも変えていました。（運動会では、クラス対抗、グラウンド半周でした）。Ａさん白、Ｂさん黄色、Ｃさん赤…お子さまは、くらいつくような表情に変わっています。チームが出来上がるとすぐにスタート！　２回戦目は先生からリードについての説明がありました。「リード？そんなことが年長さんにできるのかしら？」と、私は疑いながら見ていました。(リードはバトンの受け手が、渡される前に少しだけ先に出る動作です)根本先生と吉田先生が実演すると、最初は？？？だったお子様方も、「ちょっと先に走る」ことを少し分かったようです。リードがうまくいくとリレーの順位がくるくると変わり、「がんばれー」の応援も一層激しくなっていきます。２５分ほどの運動遊びの時間がとても濃い時間に感じました。初めて聞くルールがリレーを少し進化させました。根本先生に「リードは、小学生になってもやるからね」こう言われたときの年長さんの表情は颯爽としていました。今後の展開が楽しみです。

線に並んで待っている

→リードを学んで助走の準備

ができています！

©2025 幼保連携型認定こども園うわまち幼稚園長　嶋田むつみ